

2018

# JAしまねびより

# 9

September Vol.30

特集

島根のいいもの再発見!! 「隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米」 隠岐地区本部



島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー！



## 【隠岐の島町 島の香り隠岐藻塩米】

9月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で島の香り隠岐藻塩米（以下、「藻塩米」）の生産に取り組む、生産部会長の村上淳一部会長、藻塩を作っている野津勝友さん、お二人にお話を伺ってきました。



藻塩米作りには欠かせない久見地区の藻塩。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。  
 毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



ミネラルをたっぷり吸収することで、稲も丈夫に育つそうです。



お話を伺った、藻塩米生産部会長の村上さん。

**藻塩米とは、どのようなお米ですか？**  
 島の特徴を生かした製法で作る特別栽培米（減農薬、減化学肥料）で、穂が出てから収穫までの間に藻塩の水溶液を散布して栽培します。海藻を田んぼに肥料として播（ま）いていた伝統農法を現代版にアレンジして作り始めました。日本では珍しいアルカリ岩から構成する島のキメ細かい土は、マグネシウムが県内の平均より1.5倍前後多いとされています。さらに藻塩を薄めた水溶液を散布することで極限までストレスをかけ、ミネラル成分を根と葉からたっぷり吸収し、養分を蓄えることで美味しいお米ができます。平成15年に試験栽培を始め、今年で16年



加工場にある4基の釜で、塩を炊き上げる。



自然豊かな久見地区の天然資源を有効活用し、藻塩作りが行われていました。

**藻塩自体はどのように作るのですか？**  
 米作りに欠かせない藻塩は、海藻アラメと島の綺麗な海水を煮詰めて作っています。隠岐の島北西部の久見地区、吉浦海岸付近で潮の流れなどの状況を見ながら、一番透き通っている海水を一度に400ℓ汲み、海岸近くの加工場の釜で煮立てます。海藻アラメも近くの岩場から採ってきます。海水とアラメは、別々の釜で煮詰め、不純物を何度も濾（こ）して純度を上げ、最後の工程目になりました。特選以上はおもに関東・関西・中京方面を中心に出荷しています。おかげさまで、米専門店などから高い評価をいただいています。



お話を伺った野津さん。関係者は「藻塩仙人」と呼び、そのこだわりに感謝していらっしゃいました。

で海水だけのものと、アラメを煮た濃い赤茶色の海水とを合わせて、さらに煮詰めていきます。約3日間煮込んで、下に塩がとどっているのをすくい、乾燥させてようやく藻塩が完成します。この全工程で約1週間から10日かかります。1トンの海水から作れる量は20〜25kgとわずかですが丁寧にじっくり、こだわりをもって作っています。商品の濃い色からも分かるように海藻のミネラルがたっぷり入って



久見地区の藻塩の特徴でもある赤茶色は、天然のアラメを炊き出した天然ミネラルたっぷりの証。



15年の努力とこだわりが、これからの礎となる。

最初の10年は、生産者全員の意識を統一するまで試行錯誤が長く続きました。日本のトップブランドがどのような戦略で生産販売しているのかを学んだ上で差別化を図り、なんとかしなければならぬと常に考えていました。きっかけは10年経った頃に大きなメディアに取り上げられたことでした。新米は10月から販売が始まりますが、その年は注文が殺到。年内には売り切れ一時は入手困難なお米と騒がれたほどでした。このことで今までは出荷して終わりという感覚でしたが、その先に

### 藻塩米のブランド化を進めた15年を振り返ってどのように感じられますか？

おり、島独自の特産品として「藻塩」として販売しています。



久見地区の藻塩はお土産としても隠岐の島を代表する商品に。

いる日本の消費者をこれまで以上に意識するようになりました。島の地の利を生かした他では真似できないこだわりや美味しさがきちんと伝われば食べてみたいと思う消費者はたくさんいると実感しました。そこで一から体制を見直し、島内どの生産者のお米でも同じ品質になるよう、栽培マニュアルを細かく作成。土壌分析を行い、生産者への個人面談による土の成分の統一化、生産者全員によるほ場巡回、フェイスブックによる情報発信など、意識の統一による品質の統一への取り組みを精力的に行いました。ここ5年でブランド



一粒一粒へのこだわりが、ブランド米としての品質と魅力、そして成果へとつながる。

## 島の香り隠岐藻塩米 一口メモ

藻塩米は「島の香り隠岐藻塩米コシヒカリ（きぬむすめ）」として、平成30年度の島根県米づくり重点推進事項のこだわり米部門の一つとして位置づけられている。一般、特選、ジオパーク米（特選）と3つの等級があり、特選以上は整粒（病害虫の被害の無い完全粒）歩合が80%以上。農薬・化学肥料は特選が5割、ジオパーク米は7割減らし、特徴あるブランド米として全国的にも認知度が上がり人気が高まっている。5年前の平成25年度は16人計26ヘクタールで生産していたが、平成30年では18人が計40ヘクタールの面積で生産に取り組んでいる。



でも同じ味になるよう品質の味が進んでいるのは、何よりも味が美しく、また誰のお米でも同じ味になるよう品質の

### ブランド化が進んでいる理由や今後の展望など教えてください。

化は順調に進み、高い評価をいただいています。今後は消費者を飽きさせない取り組みが必要と考えています。「コシヒカリ」に加えて「きぬむすめ」での栽培を平成28年から開始。あっさりとした食感を好む比較的若い世代向けとして、新たなターゲットの開拓を行なっています。



「強固なブランド」を見据え、生産部会とJA、そして様々な関連機関と連携。「次の手」に余念がない。

統一を図ることで、消費者の信頼を得られたからだと考えています。これまではミネラルを大きなPRポイントの一つとしていましたが、現在は島根大学等と米の成分の特徴について産学連携での共同研究を行なっています。例えばアミノ酸や葉酸など、ミネラル以外の成分をデータ分析し健康機能性の観点からも何か特徴があるのではないかと検証を進めています。現状に満足せず、毎年マイナーチェンジを繰り返しながら消費者に長く愛されるブランド米作りを続けていこうと考えています。

# チャレンジ / 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3力年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

## JAしまね 組合員アンケート調査結果について ～組合員のみなさまへ～

当JAが取り組む「自己改革」の一環として、組合員の方々からJAしまねへの評価を認識するとともに、多様化する組合員の皆さまを類型化し、それぞれのニーズやJAとのつながり等を「見える化」することにより、組合員・地域住民から必要とされ、組合員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指すため、JA全中を中心に開発された「組合員アンケート」を活用し、JAしまね独自質問項目を含めたアンケート調査を実施いたしました。その調査結果をご報告します。

### JAしまね 組合員アンケート調査概況

1. 実査日程 平成29年12月15日～12月29日  
質問項目
2. 正組合員 28項目（JAしまね独自項目2項目）  
准組合員 29項目（JAしまね独自項目2項目）
3. 調査対象者  
正組合員 2,000名（無作為抽出）  
准組合員 4,000名（無作為抽出）
4. 調査票回答者  
正組合員 975名（回収率48.8%）  
准組合員 1,281名（回収率32.2%）

### JAしまね 組合員アンケート全国共通設問結果（概要）

1. JAしまねに期待する役割	正組合員	准組合員
最も期待しているのは「農」	最も期待しているのは「食」	最も期待しているのは「食」
地域農業の振興 担い手経営支援 農地の保全	安心できる農産物・食料品の提供	

今後、正組合員の期待「農」に応える事業運営に注力し、准組合員の期待「食」に一定応える事業運営がなされているとの評価を受け止め、引き続き、「食」と「農」を基軸とした地域に根ざした協同組合をめざし、一層の役割発揮に努めます。

### 2. JAしまねの強み・弱み（概要）

- 【JAしまねの強み】
- ▽正・准組合員の「事業利用」が全国平均を上回る。
  - ▽准組合員の「活動参加」が全国平均を上回る。
- 【JAしまねの弱み】
- ▽正・准組合員の「意識点」（親しみ・必要性・理解）が全国平均をわずかに下回る。
  - ▽正組合員の「活動参加」・「組合員組織加入」が全国平均を下回る。

### 〈分析と対応〉

○JAしまねの強みとしては、正・准組合員ともに「営農」「信用・共済」「生活」の「事業利用」が、いずれも全国平均以上となっており、事業の複合利用率も全国平均を上回っている。

○准組合員では、生活店舗（Aコープ・ラピタ等）を准組合員の55%が月に複数回以上利用するなど、生活事業の利用頻度が高く、また加入きっかけの10%を総合ポイントが占めるなど、総合ポイント効果を発揮している。

↓JAの総合事業をよくご利用いただいていることは、当JAの強みであることから、アンケート結果を参考に性別・年齢別等のニーズをふまえた事業利用の拡大に取り組んでまいります。

○准組合員の「活動参加」は全国平均を上回り、「農業まつり・JAまつり」に41%が参加するほか「支店での各種イベント」「JAの直売所での各種イベント」への参加率が20%以上と、准組合員として一定高い水準にある。

↓JAしまねは、准組合員数が総組合員数の72%と大きな割合を占めていることも踏まえ、引き続き准組合員の接点づくりに取り組みます。

具体的には、JAしまねのイベントや各種講座・料理教室などにご参加いただき、JAの活動を通じてJAに親しみ・必要性を持っていただけるよう努めます。

○JAしまねの弱みとしては、正・准組合員ともにJAに対する親しみ・必要性・理解等の「意識点」が全国平均をわずかに下回る。

↓JAの取り組み理解に向けて、広報誌「しまねびより」や支店だより・ホームページの内容充実・活用に努め、また、マスメディアも活用し、地域農業やJAの取り組み等について、一層の情報発信に努めます。

↓准組合員の「食べて応援」「作って応援」の拡大により、意識点の向上が期待できることから、

直売所や生活店舗などを活用した「食」の取り組みや、若い年齢層に向けて、農業体験などの「農」の取り組みを展開していきます。

○特に販売額が1,000万円以上の担い手経営体と、回答数の3割以上を占める販売のない多様な担い手は、JAへの理解や親しみ度とともに事業利用率も低い水準にあり、担い手経営体の25%は、営農関連事業を利用していない。

↓「担い手経営体」「販売のない多様な担い手」については、アプローチを強化し、それぞれのニーズをふまえた営農関連事業の利用促進に努め、総代会・集落座談会などの意思反映の場への参加促進を図るなど、取り組みを強化します。

○正組合員は、農業まつり・JAまつりなどの「活動参加」が全国平均を下回り、特に「男性・64歳以下」「女性・50～64歳」で活動参加が低い。

○正組合員は「集落単位の組織」「営農組合等」を中心に組合員組織への参加がみられるものの、青年連盟や各種野菜部会等の組合員組織への参加率は全国平均を下回っている。

↓組合員類型・性別・年代別等の分類によるアンケート分析をもとに、それぞれのニーズをふまえた活動の企画・実践、呼びかけを通じて、活動参加促進に取り組み、JAへの「意識点」を高め、組合員組織加入・意思反映の場への参加・事業利用につなげていきます。

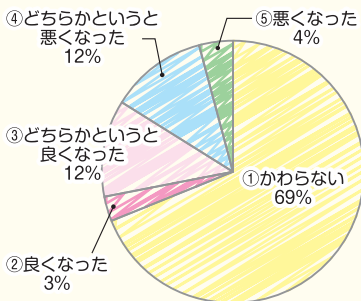
↓「組合員組織加入」は、「意思反映」「運営参画」の向上にもつながる重要な要素であることから、既存の組合員組織における組合員のニーズをふまえた内容の拡充や加入促進など、一層の組合員組織の活性化に取り組みます。

以上のほかにも、多角的な分析を行っており、組合員の評価・意向を踏まえたJA運営に活用して参ります。今後も継続的に、このようなアンケート等を行ってまいります。

## JAしまね 組合員アンケート個別設問集計結果

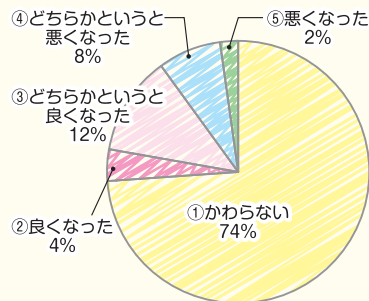
### 【設問1】JAをご利用いただく上で、新JA発足前と変わったと感じることがありますか？

#### (1) 正組合員



<主なご意見>  
 ・地元の職員（顔なじみ）がいなくなり、親しみが感じられない。  
 ・人事異動により、担当職員が度々替わり、相談もしにくい。  
 ・JAが統合し、JAが遠くなり、自分たちのJA意識がなくなってきた。  
 ・職員の対応が親切・丁寧、挨拶もよい。

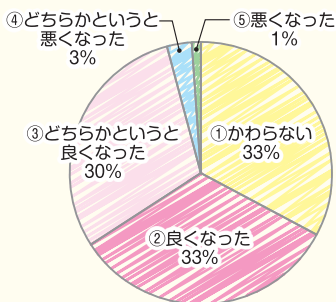
#### (2) 准組合員



<主なご意見>  
 ・地元の職員がいなくなり、親近感がなく、職員に相談しにくい。  
 ・統合し、地域の地域特性がなくなり、地域密着イメージが薄れた。  
 ・統合メリットを感じる。（貯金手続き、ポイント、県内一体感など）  
 ・職員の対応がよく、明るくなった。

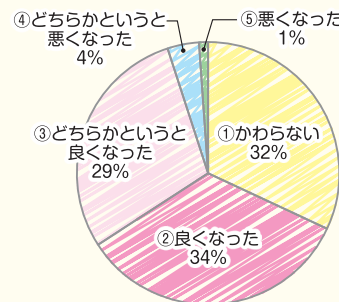
### 【設問2】職員の態度、対応の様子等についてはどうですか？

#### (1) 正組合員



<主なご意見>  
 ・対応が丁寧、親切。  
 ・対応がスムーズ。  
 ・身近な職員が少なくなつた。

#### (2) 准組合員



<主なご意見>  
 ・挨拶、笑顔が良い。  
 ・親切、丁寧。  
 ・職員によって対応が違う。



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

## 出雲市 エドガー・ピミアント・チャモロウさん (53)



エドガー・ピミアント・チャモロウさんは、出雲市大社町でシャインマスカットを30アール栽培しています。出身はコロンビアで、15年前に来日。地質調査や防災関係の仕事をしていましたが、区切りがついた6年前、周囲からの勧めもあって就農を決意しました。大社町のぶどう農家での研修、出雲市のアグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を経て、平成25年に認定新規就農者となりました。

エドガーさんがJAしまね農業振興支援事業を活用して導入したのは、薬剤散布に使う動力噴霧器です。就農当初は若木が多く使用頻度が低かったため、研修先のぶどう農家から借りたりしていましたが、成木になって防除回数や散布量も多くなってきたため平成29年度事業を活用して導入しました。適期防除を徹底することで品質向上にもつながり、昨年と比べても良いものが増えているといえます。化粧箱での出荷も増えてきました。

エドガーさんは「皆さんに喜んでもらえるような高品質なシャインマスカットを作り、所得向上にもつなげていきたい」と意欲を話してくださいました。



## 理事会情報 (7月30日開催)

### 協議事項

- ①平成31年度島根県農業政策および予算に関する要望について
- ②7月豪雨による農業被害状況および「平成30年7月豪雨に伴う農業被害復興対策支援要領」の設定について
- ③平成30年産島根米の生産者からの買入れ手法について
- ④平成29年度期末決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見書)への回答について
- ⑤平成29年度JA全国監査機構決算監査内部統制等に関する改善指示事項の回答について
- ⑥株式会社JA江津葬祭会館の設立および役員派遣について
- ⑦新たなテレビ会議システムの導入について
- ⑧土地の取得について
- ⑨常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑩新たな運営体制および役員定数と地区本部運営委員会の再構築と強化(各総代との協議資料)について
- ⑪臨時総代会の日程および会場について
- ⑫人事ローテーションに関する基本的な考え方について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

# 地区本部トピックス

雲南

## 子ども料理教室「かもこ塾kids<sup>+</sup>」 地元団体らが協力し初開催

雲南市の加茂町総合保健福祉センターかもてらすで8月6日、地元小学生を対象とした料理教室「かもこ塾kids<sup>+</sup>」が開催されました。(株)キラキラ雲南(雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会)が企画する「うんなん元気っ子わくわく教室」の一環で、加茂まちづくり協議会、JAしまね雲南女性部の3者が協力し、初の開催となりました。

今まで小学生を対象とした料理教室は、スタッフの確保や指導者の手配に課題があり開催を見合わせていましたが、活動の輪を広げようと他団体との関係強化を図っている雲南女性部と同協議会が力を合わせることで実現しました。

当日は市内在住の小学生20人が参加し、講師の森山茜さんや雲南女性部加茂支部員の指導のもと、本格的なピザ生地作りや地元野菜を使ったサラダなど5品を作り上げました。雲南女性部の事務局は「団体ごとに得意とする分野があるはず。協力し、地域が活気づくようなイベントができれば嬉しい」と笑顔で話します。



スタッフはできるだけ手を出さず、子ども達は積極的に取り組みました。

くにびき

## 生産者の顔が見える笑顔のマーケット! 水辺の朝市夏のイベント開催

水辺の朝市連絡協議会(山根茂会長)は8月12日、松江市役所駐車場で、水辺の朝市夏のイベントを開催し、多くの人で賑いました。

同協議会は、29組の地元農家や生産グループで構成。毎週日曜日の朝に同所で開催しています。地場産の新鮮な野菜や花を持ち寄り販売し、利用者からは、生産者の顔が見えるので安心して買えると好評を得ています。お盆の8月と年末の12月には品数を増やして開催。

当日は、開催時間の朝7時よりも前から長蛇の列ができ、開始の合図とともに、目当てのケイトウ、菊などの盆用の花やトマト、ブドウなど旬の農産物を買って求めていました。また、先着150名へ、きぬむすめ2合入袋を進呈する企画もあり、大勢の来場者で賑いました。

山根会長は「高温続きで苦労しているが、生産者の努力でよい商品が並んだ。今後も愛される朝市を目指したい」と意気込みを語りました。



隠岐

## エコライフ運動として 「みどりのカーテン」活動を実施中

JAしまねでは、JAしまね女性組織との統一活動として、「大きなあれ!環境にやさしい心と食への感謝」を統一スローガンに「みどりのカーテン」に取り組み、見た目にも涼やかに消費電力削減に努め、併せて取り組みが広がるよう、地域の方々へエコライフ活動のPRをしています。今年度、隠岐地区本部では4支店の軒下で「ゴーヤ」と「朝顔」をプランター栽培し、植物で作るカーテンにより室内温度の上昇を抑える活動を行っています。実施している4支店の内1支店は、葉を青々とさせ大きな日陰を作ることが出来ました。3支店では、朝顔の芽出しが上手くいかず断念をしたり、ゴーヤの葉が思うように広がらなかったりしましたが、来年以降も継続して取り組みを行いたいと思います。



やすぎ

## 米粉でピザ作り!

やすぎ地区本部は8月8日に、広瀬こクラブの児童たち27人と米粉を使ったピザ作りを行いました。児童たちは米粉と豆腐をこねた生地をカップに伸ばし、ピーマンやトマト、ナス、タマネギ等の地元野菜とチーズやベーコンなどを盛りつけました。焼き上がったピザは熱く、児童たちはふうふうしながら昼食に味わいました。

またピザを焼いている間に、JA職員による家の光雑誌のちゃぐりん8月号を使った農業に関するクイズを行い、児童たちは知らなかった農業の知識を学びました。

児童たちは「ピザ作りは簡単で、米粉でも美味しかったです」「クイズは難しかったけど、楽しかった」と感想を言いました。



完成した米粉ピザ



ピザを食べている様子

## 斐川

### あぐり探検隊 夏野菜収穫、調理体験！

8月5日、JAしまね斐川地区本部と出雲市は町内の小学生3～6年生を対象に、農業体験企画「第3回あぐり探検隊」を開き、隊員15人と保護者が参加しました。5月に植えたキュウリ、ミニトマト、ナスなど6種類の夏野菜を収穫し、講師に料理工房「創」店主の周藤明美さんを招き、同JA斐川女性部協力のもと、夏野菜をふんだんに使った「ラタトゥイユ」「ラップソーセージドッグ」「フルーツポンチ」の3品を完成させ、昼食として味わいました。3回目ともなると、隊員同士顔馴染みも増え、協力しながら収穫したり、教えあいながら調理する姿が見られました。参加した保護者からは「家には畑が無いので、親子で農作業体験ができるのは嬉しい経験」といった声が聞かれました。次回は9月に稲の収穫作業を行う予定です。



ナスを収穫！！



周藤さんに野菜の切り方を教わりました

## 隠岐 どうぜん

### 景勝地国賀・摩天崖で 草を食む放牧馬

隠岐国賀といえばすぐに頭に浮かぶものの一つに、牛馬が草を食む風景があります。隠岐諸島にはかつて臥体の小さい隠岐在来の固有種「隠岐馬」が生存していたことや、島前地域においては戦前より軍用馬を供給していたことなどから、馬の飼養が盛んに行われていた時代がありました。戦後は肉用馬生産と農耕、材木の搬出作業を絡めて飼養していましたが、昭和40年代の全国離島ブームの到来により、観光客で島が沸き返り、観光資源としての価値がクローズアップされたこともありました。年間放牧が可能で飼養手間が比較的掛からない利点がある一方で、人工授精が普及しておらず妊娠期間が約1年と長い割に、市場価格が牛に比べ格段に安かったため次第に頭数が減少、このため、西ノ島町は町有馬の貸付制度などJAとの連携による頭数維持施策を講じてきましたが、ここに来て価格の高騰に反して飼養農家の高齢化が最大の問題になりつつあります。とはいえ、隠岐の絵になる風景として大事に引き継いでいきたいものです。



## 石見銀山

### 天領さん正調踊り

JAしまね石見銀山女性部とJA石見銀山地区本部職員31人が8月5日に、大田市で開かれた祭「第38回天領さん」の正調踊り部門に出場しました。

揃いの浴衣、JAロゴ入り法被を身に付け、心を一つにし、一糸乱れぬ踊りを披露しました。

JAでは、女性部と職員が合同で毎年地域の祭りに参加し、地域振興に取り組んでいます。9月15日には、運動会を共催し、組織の基盤強化に取り組む予定です。



## 出雲

### 「第13回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA職員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第13回出雲神話まつり」が8月11、12日の両日開かれ、11日の「出雲盆踊り」にJAしまね出雲地区本部の若手職員が参加しました。今年は入組1・2年目の職員15人が参加。色鮮やかなそろいの浴衣を着て、踊りながら今市町のくまびき中央通りを練り歩きました。

「出雲盆踊り」には、同JA女性部の荒茅支部の部員も参加するなど36団体、約1,000人が参加しました。団体ごとに衣装を揃え、市内各地区の特色を盛り込んだ唄に合わせて踊り歩き観客を楽しませました。

12日には大津神立河川敷公園で花火大会も行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員



## 西いわみ

### 匹見町でちゃぐりんフェスタ開催

JAしまね西いわみ女性部匹見支部（支部長村田幸枝）は8月3日、益田市匹見町で「ちゃぐりんフェスタ」を開きました。

同町匹見地区振興センターを会場に、町内外から参加した児童ら12名が料理や工作を楽しみました。

当日は、女性部員が料理の講師役となり、児童らと一緒に「ちゃぐりん」掲載レシピの中から夏野菜を使った「トマト丸ごと炊き込みごはん」など5品を調理しました。

午後からは保護者やJA担当者が講師役となり、「空きカンの魚つり」と「ペットボトル空気砲」を作って遊びました。

「ちゃぐりん」は家の光協会が発行する子供向け月刊誌で、毎月料理や工作の紹介のほか、農業や食に関する話題を載せています。

参加した児童の一人は「友達も出来て、とても楽しかった。また参加したい」と喜びました。



## 島根おおち

### 羽須美支店ミニ来店感謝DAY

島根おおち地区本部羽須美支店では、8月10日(金)、2ヶ月に一度の羽須美支店お客様ミニ感謝デーを開催しました。今回はご来店頂いた方に、みどりのカーテンの取り組みとして育てたネットメロン「ころたん」の試食と、ケイトウの花のプレゼントを行いました。この「ころたん」は、手のひらサイズでさわやかな甘みが特徴のかわいらしいメロンですが、写真の様な栽培をしたため「マスクをかけて育てている面白いメロンがある！」と、地元のケーブルテレビでも紹介されました。「ころたん」の試食は、植え付け当初から成長を見守ってくださった方々も楽しみにされていたようで、当日はたくさんの方にご来店頂き、「ちゃんとメロンの味がするね」「甘くておいしい！」と好評でした。ケイトウは、赤・ピンク・オレンジの花を用意し、お盆前ということもありとても喜んで頂けました。

島根おおち地区本部では他の支店でも、様々な植物を育てる取り組みを行っています。



実の保護のためマスクを付けた「ころたん」

## 本店

### TAC活動発表大会 くにびき地区本部の片寄職員が最優秀賞

JA全農、同鳥取県本部、JAしまねは8月21日、「平成30年度山陰ブロックTACパワーアップ大会～TAC活動発表大会～」を出雲市のラピタ本店で開催しました。

JAしまね各地区本部の地域農業の担い手に向くJA担当者（愛称TAC＝タック）25人が取組事例を発表し、「トロ箱ミニトマトの共販出荷による収益性の向上」と題して発表した、くにびき地区本部の片寄俊一職員が最優秀賞を受賞しました。

この大会は、担い手の手取り最大化支援、地域生産振興支援など優れたTAC活動を共有するとともに、参加者間で面的展開に向けて検討をすることを目的としています。

最優秀賞の片寄職員は、「ミニトマトの市場単価が低く、出荷しても雑に扱われているように感じてしまう」という担い手の意見から、ミニトマトを共販してはどうかと提案。その結果、市場への安定供給が出来るようになり市場の平均単価が向上（前年対比112%）し、担い手の意欲向上にもつながった活動が評価されました。



## いわみ中央

### 絆づくりの大会 『JAふれあいの集い2018』

JAしまねいわみ中央地区本部は、「JAふれあいの集い2018」を開催しました。「協同の心で地域活性化」をテーマに、来賓の江津市長、県議会議員をはじめ組合員や地域住民利用者、JA女性部、JA役職員ら600人が集まり盛大なイベントとなりました。今年は、会場を管内の江津市総合市民センターに移しての開催となりました。

集いでは、みどりを守る小学生作文コンクール入賞作品発表や女性部の家の光記事活用体験発表のほか、立正大学経済学部の北原克宣教授に「JA自己改革と女性の役割」と題して講演していただき来場者も真剣に聞き入っていました。

後半は、オープニングに江津の青壮年会 傘踊り隊による傘踊りでスタート。JA女性部とJA職員によるふれあいステージでは、会場が一緒になって盛り上がりました。また、会場ロビーに設営された女性部員の手作り手芸品や加工品販売コーナー・JA特産品販売コーナーではブドウや梨が特別価格で販売され賑わいました。



## 基本方針

### 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

### 「地域の活性化」への貢献

総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

### 健全経営の為の取り組み

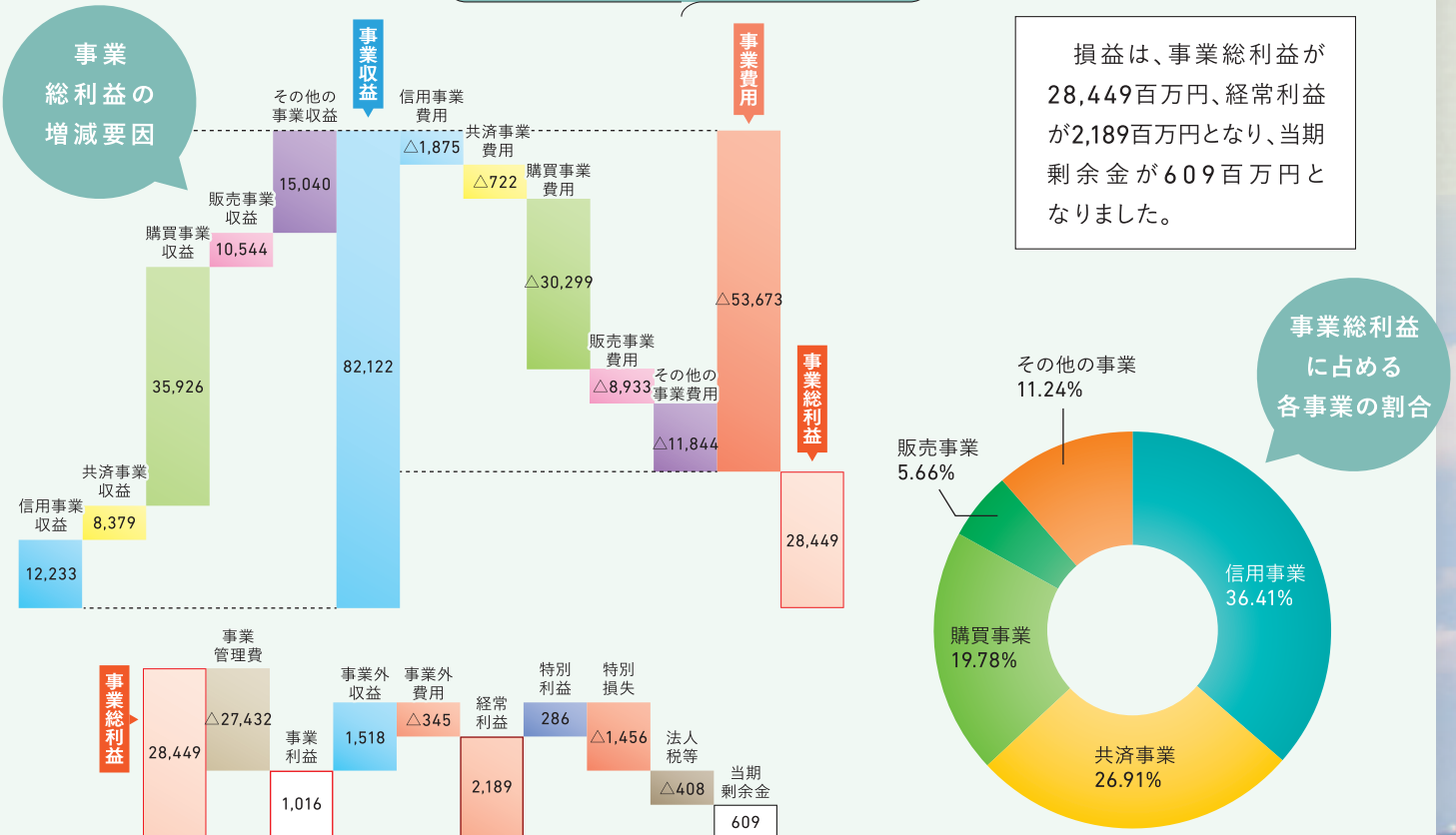
「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。

# 1

## 営業に関するご報告



## 損益の状況（平成29年度）



# 2

## 事業別業況 (平成29年度)

### 農業関連事業

#### 購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,853百万円となりました。



#### 販売事業

米の買取制度を29年産米も継続実施し、また畜産等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は38,129百万円となりました。

### 生活関連事業

#### 購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,162百万円となりました。



### 共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,541,460百万円、年金共済保有高が20,802百万円となりました。



### 信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高984,693百万円、貸出金が期末残高299,671百万円となりました。



## 農業振興支援事業での持続的営農への支援

# 3

### 農業振興活動



平成29年度は、4億円の予算化を行い担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、島根県農業の基幹である和牛子牛の増頭対策では、繁殖母牛の導入において199頭の増頭支援、デラウェアでは優良系統への改植による持続的産地への支援、担い手の複合型営農形態の促進に向けた園芸品目の普及対策を実施しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

# 4

## 子育て応援宣言

### 地域密着型 金融への 取り組み

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。



## 2018 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JAしまね

## PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	226億円
総資産	1兆926億円
単体自己資本比率	14.93%
組合員数	231,666人
役員数	73人
職員数	3,609人
事務所数	201

## タテのカギ

- ①馬に乗る人のこと
- ③マガモを改良して作られました
- ⑤お金を借りると付くことも
- ⑥日本海軍が造った世界最大の戦艦
- ⑦軍配を持って土俵に上がりませす
- ⑨神社で神事に奉仕する女性
- ⑪泡立ててメレンゲを作ります
- ⑬田畑を耕す道具の一つ
- ⑮首都はハノイ。米の生産が盛んな国です
- ⑰——あれば憂いなし
- ⑲野球でランナーが滑り込む所
- ⑳カトリックでは神父、プロテスタントなら
- ㉑リレーの選手がつかなく物

## ヨコのカギ

- ①ギーッチョンと鳴く秋の虫
- ②図書館で専門的な仕事をします
- ③海に潜って貝などをとる職業
- ④目のこと。つぶらな——
- ⑥ゆらゆらとバランスを取る玩具。長い腕を持つ人の形をしています
- ⑧子(ね)と寅(とら)の間
- ⑩警察官や消防士、裁判官はこれ
- ⑫黄門様のお膝元です
- ⑭決まった時間に寝起きする、——正しい生活
- ⑯渦巻き模様が付けられた練り物
- ⑱二十世紀、新高などの品種があります

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	7		13		20
2				14	17	
		8	11		18	
	6			15		
3			12			21
4		9		16	19	
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地  
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
平成30年10月5日（金）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「コスモス」

ス	キ		マ	イ	ク
イ	ネ	カ	リ	モ	チ
ツ		イ	ン	ロ	ウ
チ	カ		ギ	ト	キ
	イ	シ	ヨ	ク	ス
ネ	コ		ウ	ラ	サイ
ビ	ン	ザ		グ	スト

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## 腸の調子を整える

いくつチェックが付きましたか？生活習慣をちよつと見直して健康な胃腸に一步近づきましょう。胃腸がすぐれない方は、改善できる方法をいくつかあげますので、参考してみてください。

1. **お腹を温める。**  
湯たんぽ、ホッカイロ、蒸気が出る温熱シートなどでお腹を直接温める。
2. **しょうががくす湯**  
お腹をこわした直後は、消化によく湯がおすすです。くずには整腸作用や体を温める作用があります。さらにしょうがを加えると温め効果倍増!!冷たい食べ物や飲み物で冷えきった体を、芯から温めてくれます。
3. **はちみつ緑茶**  
はちみつと緑茶の意外な組み合わせ!!緑茶に含まれるタンニンには、便を硬くする働きがあります。そこへ整腸作用のあるはちみつを加えると下痢止めに効果的です。

- 食事時間が不規則
- 睡眠不足
- 夜食を摂る
- 運動習慣が無い
- 朝食を抜く
- ストレスが多い(多忙、人間関係の悩み、など)
- 野菜、果物をあまり摂らない
- 脂っこいものをよく食べる
- 喫煙習慣がある

### ☑生活習慣をチェック

今は「お腹に特に悩みは無い」という人も、以下の項目にチェックが多い場合は、要注意です。

### ☑快腸度チェック

- 排便の無い日が2日以上続くことがある。
- 排便時間にばらつきがある。
- 便がゆるいことが多い。
- 1回の排便量が少ない。
- 吹き出物が出たり、肌の調子がすぐれない。

厳しい暑さも終盤にさしかかり、そろそろ、食卓の上には色とりどりに溢れた食べ物や並ぶ季節になります。美味しいものは楽しみながらいただきたいですよ。暑さへたれてしまった胃腸を元気にして、秋の味覚を楽しみましょう。

そこで、まずは、あなたの胃腸の調子をチェックしてみましよう。チェックの付く項目が多い人は、腸の調子がすぐれない状態です。

# JAふれあいの集い2018

～ 協同の心で地域活性化 ～

JAしまねいわみ中央地区本部は、8月18日（土）に江津市総合市民センターにおいて『JAふれあいの集い2018』を開催し、来賓に、江津市長をはじめ県議会議員他総勢600人の参集の中、盛大に開催されました。

今年度は、会場を江津市にし、午後からの開催となりました。主催者であるJAしまね いわみ中央地区本部 井上宗治本部長は、「今、地域社会、農業現場において組合員、地域住民の多様化が進み、農業、地域との関わり、考え方に歪みが生じている。自己改革をすすめ、組合員が主人公となるJA運動を実践し、10年後も、豊かで元気な地域社会、JAである事を目指す」と挨拶されました。

前半の部では、昨年のみどりを守る小学生作文コンクールの入賞作品で浜田市立波佐小学校の佐々井臣さんが発表し、堂々とした発表に会場からは大きな拍手をあげました。また、JA江津女性部の青木文江さんによる家の光記事体験発表があり、「家の光とともに歩んだ江津ふれあい学級」と題して、歴史ある江津女性部の活動のようすを聞きました。そして、前半の部最後は、立正大学経済学部教授 北原克宣先生の『JA自己改革 ～JA自己改革と女性にお役割～』と題して講演があり、大変興味深く聞いていただきました。

後半の部では、江津の青壮年会傘踊り隊による傘踊りをオープニングにJA女性部と職員のふれあいステージで盛り上がりました。また、会場ロビーに設営された女性部員の手作り手芸品や加工品販売、JA特産品販売コーナーではブドウや梨が特別価格で販売され賑わいました。

このふれあいの集いは、教育文化活動の重要性を伝え、協同の心とその輪を更に広げ、強い絆の構築に寄与する大会として毎年開催しています。JA運動の原点である人と人との絆づくりを実践し、10年後も豊かで元気なJAであることを願い、JAふれあいの集い2018も盛会に終了しました。



オープニング 傘踊り

## “JA職員と女性部のステージ”

弥栄女性部  
「おまつり音頭」



金城女性部  
「よさこいpart2」



浜田女性部  
「着物リメイクファッションショー」



三隅女性部  
「炭坑節」



江津女性部  
「3B体操」



旭女性部  
「お米さんありがとう音頭」



JAカップ『国府野球スポーツ少年団』15年ぶり県大会へ！

浜田地区予選が8月4日浜田市野球場で1回戦から決勝戦まで計4試合があり、決勝は国府が美川を31-0の5回コールドで破り、15年ぶり2度目の優勝を飾りました。8月18日・19日松江市宮野球場で開かれた『JAカップ第35回島根県学童軟式野球選手権大会』に浜田地区代表

で出場し、県大会初戦では社日（安来地区代表）に7-0でコールド勝ちをし、2日目の準決勝では優勝した大田に終盤まで粘りを見せ健闘しましたが惜しくも4-8で敗れました。県大会での2試合は国府球児たちの貴重な経験となった事でしょう。

【浜田地区大会の結果】 8月4日 浜田市野球場

▽1回戦：浜 田6-1三 隅  
 ▽準決勝：西 部5-8国 府 / 浜 田6-7美 川  
 ▽決 勝：国 府31-0美 川（国府が15年ぶり2度目の優勝）

【江津・邑智地区大会】 8月4日～5日 川本町民球場・江津市民球場

▽1回戦：津 宮5-4石 見 / 大 和0-8郷 田  
 津 宮2-4江津高角 / 川 波4-3川 本  
 江 津 東3-4邑 智  
 ▽準決勝：江津高角3-4郷 田 / 川 波2-9邑 智  
 ▽決 勝：郷 田1-6邑 智（邑智が3年連続5度目の優勝）



虹のホールはまだ  
人形供養祭・夕涼み会

JA葬祭会館「虹のホールはまだ」は、8月25日人形供養祭・夕涼み会を開催しました。

第一部の人形供養祭（第5回目）には、浜田、江津管内から約1,700体あまりの人形やぬいぐるみが出展され、子供達の成長を見守ってくれた人形たちを感謝の気持ちで供養しお別れをしました。

第二部（午後4時から）の夕涼み会では、ホール内は「生前遺影写真撮影」「生花アレンジメント教室」「お楽しみ抽選会」、屋外特設ステージでは、浜田第一中学校吹奏楽部による「ねぶた踊り」、ダンスパフォーマー、JA女性部有志による「ねぶた踊り」、ダンスパフォーマー、石見神代神楽上府社中による神楽、来場者参加型クイズ大会と終演までたくさんのお客様と楽しいひと時を過ごしました。

ご来場くださいました皆様、ありがとうございました。来年も更に充実した企画を準備してお待ちしております。



梨の選果 稼働

旭梨第二選果場において旭町特産「赤梨」幸水の選果が8月16日より始まりました。  
 当日は選果開始前に株式会社 浜田青果市場 弘中常務ご出席のもと目合わせ会を行ない、最初に弘中常務より果樹市場の情報提供をいただき目合わせにうつりました。

今年には梨の生育が早く7月の台風12号の被害はなかったものの気温の高温状態が続いたことと、少雨だったため例年と比べ小玉傾向となりましたが、糖度にかんしては十分にのつっている状態です。8月末まで幸水の選果をおこない、9月上旬から9月末まで豊水の選果をおこなう予定となっています。



石見団地西条柿出荷協議会 「西条柿産地ツアー」開催  
 ↳大阪・広島・宇部・浜田・北九州市場招待



8月28日(火) 石見団地西条柿出荷協議会 (西いわみ西条柿部会・いわみ中央西条柿生産組合) は、大阪、広島、宇部、北九州、浜田の各地域の青果場担当者をお招きして、平成30年産の西条柿の生育状況や市場情勢など情報交換会を行いました。

まず最初に、浜田市横山町の西条柿園にて今年度の生育状況を市場担当者へ報告しました。西条柿生産者より「今年は猛暑の影響により果実の生育状況が懸念されていますが、西条柿については、着果数、玉太りに関しても昨年並みで生育しており、安定した出荷ができる。」ことが各市場担当者へ報告されました。

また、生産者と市場担当者との意見交換では、全国的な果実の情勢が報告されたあと、今年度の西条柿の販売方法について協議されました。やはり生産者の生産意欲向上のためにも各市場の販売力が必要不可欠であることを認識して頂きました。

今年の西条柿は日光をたくさん浴びているため、糖度の高い西条柿が期待されています。消費者の皆様も甘くておいしい西条柿をぜひお召し上がり下さい。

ピオーネ出荷報告で市長訪問



J Aしまねいわみ中央地区本部は、浜田市金城町特産の大粒系ぶどう「ピオーネ」の本格出荷を控え、生産者らでつくる金城町ぶどう生産者協議会(2法人16個人)の塚本守会長といわみ中央地区本部井上宗治本部長が8月20日、同市殿町の浜

田市役所を訪ね、久保田章市市長に今年産の生産販売状況の報告を行いました。  
 7月30日より出荷を開始し、今年産は生育進捗及び収穫も例年より早く9月下旬から10月上旬まで続ける予定。

昨年、町内では協議会会員が約3haの農地でピオーネを栽培していたが、平成29年度リースハウス事業により現在は4haの栽培面積となり、若い新規就農者も増え生産振興を図っているところだす。

ピオーネを試食した久保田市長は「儲かる農産品として確立できるよう今後も頑張ってください。また、市として必要な支援をしたいので、このぶどう栽培を広げて欲しい」と激励の言葉をいただきました。



## 産直トピックス

### 8月の営農塾 【第22回 8月22日】



のみなさんで野菜のことなど多くのことを学びました。そして今日はその集大成の座学を行いました。

今まで植えたトマト、ナス、キュウリやピーマンなどの栽培方法やそのポイントや気を付けなければいけない点など改めて確認していました。参加者の方々はこまめにメモを取ったり、時には質問をしたりしていました。

さらに休憩中にニンニクなどの栽培のポイントは何かという質問もありました。そして最後に資料の説明が終わった後に質問を受け付けたところ、種子の質問やトウモロコシの生育についてなど質問も多くあり、聞きたいことが次から次へと出ていました。前向きに今後も農業へ取り組みたいという熱意が伝わってきました。

8月22日（水）第22回営農塾が開催されました。今回は最後の営農塾の講習が行われました。

今年は雨が多くなかなか実習ができませんでしたが、一年間2期生

### 第4回育成塾

#### 「たまねぎ、端境期対策品目、花卉の栽培と種子についての講習会」を開催！ 【第4回 8月21日】

8月21日（火）参加者10名でいわみ中央地区本部ふれあいホールにて、第4回育成塾の講習会が開催されました。

初めに鳥根県西部農林振興センター浜田農業普及部主任普及員の長島さんからタマネギと端境期対策品目の秋ジャガイモ、リーフレタス、サラダゴボウの栽培方法について説明があり、タマネギはあらゆる料理に適応もでき、塾生の多くが栽培していました。そこで定植の方法やその後の管理、収穫からその先の保存方法までそれぞれの要点まで細かく説明がありました。塾生も栽培方法の詳しい部分から肥料の種類まで質問も多く、端境期対策品目も秋ジャガイモも栽培している人も多くいたため、関心も集まり質問も集中していました。そのあと鳥根県西部農林振興センター浜田農業普及部の大西まどかさんから花卉の栽培についてと種子についての講習会があり、鳥根県の花卉の出荷・生産の状況について説明や、今からでも栽培が間に合う品目について説明がありました。

最後に種子についての説明があり、すべての植物の原点は種子であり、栽培を左右する重要なものだと説明がありました。



### 消費者交流会

#### 「地元農家のトマトをおいしく食べよう！」 いわみ中央地区本部は、8月7日浜田市農林振興課との共催で、消費者交流会を開催しました。この交流会は、地元消費者と生産者との交流を図る事を目的として行い、今回は、「地元農家のトマトをおいしく食べよう！」と題して募集を図り16名の参加が有りました。

講習会は、2部構成で行い、第1部は、「おいしいトマトづくり」と題して河崎健（浜田市金城町波佐）さんのトマト圃場の視察を行いました。トマト栽培についてはいろんな手法がありますが、減農薬にこだわりを持ったトマト栽培についての話を聞きました。

第2部は、トマトを使った料理講習会を行い、同地区本部ふれあい課の前田課長補佐を講師に地元産のトマトを使った「梅ケチャップ」と「完熟トマトの冷製パスタ」を作りました。参加者は「トマトケチャップに梅干しを入れるのは初めて。夏にはさっぱりとしていいね。保存も利くし。」など感想を述べていました。最後に参加者全員で「完熟トマトの冷製パスタ」と「梅ケチャ」をナスにつけていただきました。「今回の消費者交流会は、生産者と直接話もでき、そして、旬のものも美味しくいただくことが出来て参加して良かったです。」と参加者は喜んでいました。



# 教えて野菜作り!

2018年9月号



9月になると芋・栗・かぼちゃ、さんまにきのこ。甘いものもおかずでも、美味しいものが多すぎ、♡天高く馬肥ゆる秋、ということわざがありますが、馬だけでなく人間も注意の季節（しかし、美味しいものがありすぎて、食欲は止められない。食欲の秋）!

今年も果樹の苗木の注文書が9月に回ります。興味のある苗木を注文して頂くのは嬉しいのですが、苗木が届いたら一部の方から、「今日苗木が届いたが、いつ植えるのか?」の問い合わせがあります。「調べてから注文したんじゃないんかい?」などはとても言えません。こんなこともありますので、今回は果樹の苗木の移植について紹介します。

## ○果樹苗の移植について

苗の移植は、落葉樹は葉っぱが落ちてきている時（休眠期）が、移植時期です。移植時期は植え付け適期と同じです。

### 1. 落葉果樹の移植について

落葉果樹の移植は、必ず葉が落ちてきている時に行います。ただし、落葉樹は、落葉期に根をきっておき下準備さえしておけば新芽がでてから（春以降）でも移植することは可能になります。

### 2. 常緑果樹の移植について

常緑樹の移植は、寒くもなく暑くもない時、新芽が出だしていないとき（10月～11月頃と3月～4月頃まで）が移植時期です。ただし、冬場でもあまり寒さが厳しくない地方でしたら1月2月の移植も可能です。

#### ○植え付け適期

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
落葉樹 桜・梅・桃・柿・栗など							■					
常緑樹 柑橘類・ビワなど						■					■	

### 3. 成木の肥料について

肥料散布は、目的や時期で3つに分けられます。

- 元肥・・・生育期間の大半をまかなう基本の肥料でチッソ、リン酸、カリ、苦土石灰を主に施します。
  - 追肥・・・果実の肥大、着色増進を目的にし、チッソ、カリを主に施します。
  - 礼肥・・・樹勢の回復のためと、養分を多く蓄えるために、速効性のチッソを主に与えます。
- ※元肥の散布時期を逃さないように心がけましょう。

●10月中旬～11月下旬を目安に散布しましょう。

PH矯正のための苦土石灰は、9月末頃に散布するのがおすすめです。また、有機肥料の代名詞と言える発酵鶏ふんを散布する場合は礼肥として、8～9月に散布するのがおすすめです。

●数種類栽培している場合の散布順序としては、早生桃→中生、晩生桃、小房ブドウ→大房ブドウ→梨、柿の順を目安にするとよいでしょう。

## ○フキ(蔕)の植えつけと管理

フキは極めて数少ない日本が原産国の野菜の1つです。野山に自生しているものも数多く見られますが、庭先や樹陰、畑の隅などに植えておけば、数年間は採り続けられるので、たいへん重宝します。普通は葉柄を食べますが、春に芽を出すフキノトウの新鮮な味も格別です。

実は、フキの植えつけの最も良い時期は、暑さが遠のき始めた今年9月中です。自生地から根株を掘り上げて、しっかりした地下茎を3～4節（10～15cmぐらい）付けて切り離し種根とします。



### 1. 畑の準備

植えつけるところには、早めに石灰、少量の鶏ふん、油カスを全面に撒き耕しておきます。

### 2. 植えつけ

植えつけは、50～60cm間隔に浅めの溝を掘り、30cm間隔に横向きに根を置きその上に4～5cmほど覆土をします。さらに、防乾、防暑のための刈草か腐葉土を覆っておきます。

### 3. 追肥、管理

追肥は春から秋の間に3～4回、野菜美人など少量与えますが、細根が浅いところで張っているので、油カスなど根焼けを起こさないものを、与えてもよいでしょう。

また、乾燥に弱いので、乾きが激しければかん水します。特に、夏の強い日差しを嫌うので、木の陰など半日陰に植えつけるのが良いのですが、丈の長い作物を2～3列おきに植えるなど陰を作る工夫をしてみましょう。一度植えたら4～5年はそのまま収穫できます。しかし、作ってみると、自生のフキのたくましさをつくづく感じますよ。





西部農林振興センターからのお知らせ

平成30年度 秋季狩猟免許試験について  
～今年度中に狩猟免許を取る最後のチャンス!～

野生鳥獣の被害にお困りではないですか？

島根県では、特にイノシシによる被害が多く、農作物被害額の約8割がイノシシによる被害となっています。

鳥獣被害対策としては・・・

- 1. 餌場をなくすこと
- 2. 侵入防止柵による防護
- 3. **捕獲対策**



防除と捕獲の組み合わせが  
“効果的な対策” へつながります。

※有害鳥獣捕獲には  
**狩猟免許+市からの有害捕獲許可**が必要

防除しても出没を繰り返す  
鳥獣を捕獲します

鳥獣被害対策はまず「食べさせないこと」が原則。

食べ物が得られない場所に鳥獣は近づきません。

しかし、一度農作物の味を覚えた鳥獣はしつこく出没を繰り返します。

そのような鳥獣に対しては**捕獲対策も必要**となってきます。

自分の農地を自分で守るためにも

**狩猟免許を取得**しませんか！



しっかりした防除が基本



それでも出没してくる個体を捕獲

県では以下の日程で狩猟免許試験を予定しています。

【狩猟免許試験】

日時：平成30年9月29日（土）9：00～

場所：浜田合同庁舎（浜田市片庭町254番地）

手数料：3,900円（わな免許の場合）

5,200円（第一種銃猟免許の場合）

※銃猟の場合は銃の所持許可が別途必要です。詳細は最寄りの警察署に相談して下さい。

【狩猟免許試験事前講習会】 <浜田会場>

日時：平成30年9月16日（日）9：00～15：30

場所：石央文化ホール（浜田市黒川町4175番地）

受講料：4,000円

※事前講習会の申し込みは島根県猟友会（TEL0852-22-4129）まで。

申請の方法やお問合せなどは、島根県西部農林振興センター又はお近くの市役所・各支所農林部署まで。  
連絡先：島根県西部農林振興センター林業振興課 TEL：0855-29-5604

## 防災について研修会 もしもの時の備えに！



されている『防災プレスレット』を作成しました。このプレスレットは、引き延ばせば応急手当や荷物の固定に使ったりと優れものの。参加者それぞれが作成し持ち帰りました。また、日赤の職員から、炊き出しの方法や大風呂敷でリュックの作り方や、ホットタオルの作り方等も実践し学びました。

突然の災害などから家族や仲間を守るためには、正しい知識と備えが大切であることを学びました。

JAしまね女性部は、7月31日に、JAしまね女性部研修会を開催しました。西部開場は、3地区本部（島根おおち・西いわみ・いわみ中央）女性部30名が参加し、人権同和研修会と防災セミナーを開催しました。

防災研修会に合わせ、家の光7月号に掲載



## スタミナ料理教室

JAしまねいわみ中央女性部三隅 芦谷支部（泉川サエ子部長）、黒沢支部（三浦美子部長）両支部は、7月末にスタミナ料理教室をそれぞれ開催しました。メニューは全て家の光から選び、牛肉と新しょうがのちらしずし、野菜と鶏肉のフライパン蒸し焼き、きゅうりの中華風塩煮など5品を作りました。食材の中で、部員たちが作っている野菜などは持ち寄り調理しました。

今年の夏は本当に暑かったですね。冷たい物ばかり欲しくなり、食欲も減退し夏バテぎみに…。部員みんなで食欲をそよめるスタミナ料理を作り、暑い夏を乗り切りました。熱中症予防にも、きちんと食べる事が大切ですね！



芦谷支部



黒沢支部



## 女性部視察研修会 健康は寝具から！

JAしまねいわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は、8月21日に女性部役員視察研修会を開催しました。今回は、役員6名が参加し、出雲市にある浅尾繊維工業に出かけて行き、寝具の工場見学と商品の説明を受けました。工場見学では、羽毛布団の製造工程の説明を聞いたり。嚴重なる検針の様子を見学しました。勉強会では、背骨は、命の缶詰―背骨のずれば健康の敵―と言われ、快眠健康布団の紹介もありました。

2件目の視察先は、大田市にある旭養鶏場に行き、加工品の製造工程を見学しました。

売店では、卵や加工品の直売所があり参加者も買い求めています。





## 8月講義「魚の料理教室」



JA女子大学いわみ中央キャンパス8月の講義は「魚の料理教室」でした。講師には金城町波佐にお住いの西坂 弘美先生をお招きして行いました。女子大学卒業生から「浜田に住んでいるので魚のさばき方を教わりたい。」との声が多く、今回の講義の開催となりました。

今月は夏休みということもあり、子供さんも一緒に参加していただき30名での料理教室となりました。浜田産のアジを使い、ゼイゴを取り、腹を開け内臓と中骨を取りアジフライにしました。もう一品は、さばいたアジを包丁でたたいてつみれ汁を作りました。あまり得意でない学生や子供達も、先生の丁寧な指導で、何匹かさばいているうちにコツをつかむ事が出来ました。

親子で参加した学生は、「家では子供と一緒にゆっくりと料理をする事が出来ないので良い経験でした。」と感想をいただきました。



## \* JA女子大学OG会 \*

### 本格カレー教室

JA女子大学OG会紫陽花(会長 河野 恭美)は、7月中旬「本格カレー教室」を開催しました。海外出身の会員が講師となり、香辛料を調合し石臼で挽くところから始めました。参加者は、「普段のカレーはルーで作るけど、挽きたての香辛料は香りがよく、食欲をそそるね。」と、出来上がりを楽しみに調理しました。



米粉で作ったピーナッツと小魚のせんべいは、とても簡単に作れ、子供のおやつにピッタリです。今回は会員全員は集まれませんでしたがおしゃべりしながら調理を楽しみました。



このOG会「紫陽花」は、3月に女子大学を卒業し活動を始めたばかりですので、これからの活動が楽しみです。次回は、「ハーバリウム」を計画しています!

## 【お願い】米生産者の皆さま 水田作付意向調査にご協力を!

島根県農業再生協議会がお示しする「平成31年産米の生産数量の目安」を算定するため、各地域農業再生協議会(市町村・JA等で構成)が県内の米生産者の皆さまを対象に「水田作付意向調査」を実施しています。お手元に調査表が届いていましたら、ご記入の上、提出をお願いします。

### 「米の生産数量の目安」とは

国による「米の生産数量目標」の配分が行われなくなったことに伴い、需要に応じた米を作るため全国の需要見通しを踏まえ、市町毎に参考としてお示ししているのが「米の生産数量の目安」です。

調査内容：米生産者の皆さまの31年産米の作付(出荷・販売)見込数量  
 調査時期：概ね9月下旬～10月下旬。調査の実施期間は、管轄されている地域農業再生協議会により異なります。  
 回答期限：各地域農業再生協議会から示されている期限までに提出してください。

※回答内容や調査方法についてご不明な点があれば、各地域農業再生協議会へお問合せください。

### 調査への御協力をお願いします

皆さまからのご回答は、「米の生産数量の目安」の算定のほか、県や各市町村で取り組んでいる売り先を確保した米づくりの推進に活用していきます。

(お問い合わせ) 浜田市農業再生協議会 ☎0855-22-3500  
 江津市農業再生協議会 ☎0855-52-7493

お買い得品多数展示

# 秋の総合展示商談会

会場

サンマリン浜田

開催日

平成30年10月26日金～28日日

開催時間

9時00分～18時00分／最終日：15時00分終了

秋冬衣料・寝具・健康器具  
農具・暖房具・スポーツウエア・他生活用品  
多くのご来場をお待ちしています！

いつもご来店ありがとうございます。

◆産直きんさい市場からのお知らせ◆

## 秋の彼岸市開催

実りの秋  
収穫祭  
同時開催

期間 9月20日(木)～9月23日(日)まで

### 黒川店

特設テント販売（予定）

- 9/20(木)午前中 いわみ中央栗生産組合による「栗即売会」
- 9/21(金)午前中 いちじく生産部会による「いちじく即売会」
- 9/22(土)午前中 金城町ぶどう生産者協議会による「ピオーネ即売会」
- 9/23(日)午前中 原木乾椎茸生産組合による「乾椎茸袋詰め放題」

※天候・生育状況により中止または延期になる場合があります。

### 周布店

9/22(土)、23(日)は  
臨時営業いたします

花いっぱい・農産物等（野菜等）  
とりそろえてお待ちしております。

是非、お越しく下さい！

## 平成30年9月1日付 人事異動

企画総務部 総務課

職能	氏名	異動後		異動前	
		新部署	職位	旧部署	職位
管理職	佐々木重盛	企画総務部	部長	企画総務部兼ふれあい課長	部長兼課長
管理職	井上まゆみ	企画総務部 ふれあい課	課長	企画総務部 ふれあい課	
管理職	森岡 拓史	企画総務部 企画管理課	課長補佐	企画総務部 企画管理課	係長
管理職	佐々木洋子	金融共済部 金融業務課	課長補佐	雲城出張所 業務課	課長
管理職	佐々木千秋	雲城出張所 業務課	課長	金城支店 業務課	課長
管理職	岡田佐恵子	金城支店 業務課	課長	金城支店 業務課	
正職員	島田久仁子	金城支店 業務課		浜田支店 業務課	
正職員	吉田 祐美	浜田西支店 業務課		浜田西支店 長浜事業所	
正職員	高野 槇子	浜田西支店 長浜事業所		浜田西支店 業務課	
正職員	芝田 愛	江津支店 業務課		浜田支店 長沢事業所	
正職員	柿谷 光咲	企画総務部 ふれあい課		江津支店 業務課	
定期職	福原 幸子	江津支店 業務課		江津支店 江東事業所	
定期職	三木美那子	江津支店 江東事業所		江津支店 業務課	
定期職	川神 珠美	浜田支店 業務課		江津支店 業務課	
定期職	右田 直美	企画総務部 総務課付		金融共済部 金融業務課	
定期職	吉田 伸子	浜田支店 長沢事業所		浜田東支店 上府事業所	

### 退職者 (平成30年8月31日付)

職能	氏名	旧部署	職位	備考
正職員	前田 光子	企画総務部 ふれあい課	課長補佐	定年退職
准職員	川井 雅晴	金融共済部 共済課		定年退職
定期職員	三浦 直美	三隅宮農経済センター		契約期間満了
正職員	西口 結	浜田西支店 業務課		依願退職
特別職員	杉野 友哉	企画総務部付 江津葬祭会館		契約期間満了

### 定年再雇用 (平成30年9月1日付)

職能	氏名	配属部署	職位	備考
定期職員	前田 光子	営農経済部 営農企画課		

### 採用 (平成30年9月1日付)

職能	氏名	配属部署	職位	備考
定期職員	山岡 哲夫	三隅宮農経済センター		



#### お詫びと訂正

(誤)  
田野島 美津恵  
(正)  
田野島 志津恵

【広報誌8月号】P10サプライズの記事で、田野島 志津恵様のお名前が間違っていました。訂正し、お詫び申し上げます。



浜田市金城町 流田 忠征 さん  
人形みたいな茄子

サ  
プ  
ラ  
イ  
ズ



# 萩・石見空港開港25周年記念企画

## 萩・石見空港より FJA フジドリームエアラインズ直行チャーター機で行く!!

### 世界自然遺産 屋久島・科学と歴史の島 種子島

バスを降りると目の前の3千年の歴史に感激!!



**紀元杉**  
紀元杉は、屋久島の多岐の花崗岩からなる土壌の環境による特殊な生育パターンにより、樹高が約150mに達しています。

**種子島宇宙科学館**  
K.P.V.B. イーゼン



#### ～選べるホテルをご用意～

スーペリアホテル (SUP)	ラグジュアリーホテル (LUX) 限定5組
<p>1泊目 種子島コルフリゾート</p> <p>2泊目 屋久島サイドホテル</p>	<p>1泊目 種子島いわさきホテル</p> <p>2泊目 sankara hotel &amp; spa YAKUSHIMA</p>
デラックスホテル (DLX)	
<p>1泊目 種子島いわさきホテル</p> <p>2泊目 屋久島いわさきホテル</p>	



選べるホテルプラン	旅行代金
スーペリアホテル (SUP)	<b>129,800円</b>
デラックスホテル (DLX)	<b>139,800円</b>
ラグジュアリーホテル (LUX)	<b>159,800円</b>

旅行代金 大人おひとり様、2名一室利用、萩・石見空港起点(税込)

### 旅行実施日 平成30年 11月29日(木)～12月1日(土)

**申込金 30,000円** (旅行代金に充当します。)

**募集人員 80名** (最少増行人員 60名) ※各プランの合計募集人員が80名となります。

**添乗員 萩・石見空港より同行します。**

**利用バス会社** 種子島：屋久島交通 種子島支社  
屋久島：屋久島交通 屋久島支社  
又は同等クラス

**食事条件** 朝食2回、昼食3回(弁当含む)、夕食2回

**利用航空会社** フジドリームエアラインズ(FDA)チャーター機

**募集締切日** 平成30年11月8日(木)

#### おすすめの旅のポイント

- 1 地元 萩・石見空港からFDA直行チャーター機で家々まで約1時間30分で種子島へ!
- 2 萩・石見空港までは「便利な送迎バスプラン(詳細下部参照)」をご用意しています!
- 3 ベストシーズンの種子島、屋久島を3日間で見ます。
- 4 昼食・夕食共に地元の特産品を用いた名物料理をご用意!
- 5 スーペリアホテル(SUP)、デラックスホテル(DLX)、ラグジュアリーホテル(LUX)からお好きなホテルをお選びいただけます!すべてプランともに2泊とも2名一室利用。

**便利な送迎バスプラン!**  
次のルートで萩・石見空港まで往復3,000円(税込)にてご利用いただけます!  
ルート JALまねいわみ中央浜田支店 ⇄ 萩・石見空港 運行確約です!

#### コース表

日	行程	備考
1	指定配車場 → 萩・石見空港(午前) → 種子島(午後) → 種子島開発総合センター/鉄道橋	指定配車場
2	焼肉れんが屋(昼食) = 武田産業 = カクスギランド	指定配車場
3	種子島(午後) → 西之表港(午前) → 種子島(午後) → 西之表港(午前) → 指定配車場	指定配車場

#### 総合ポイント対象旅行

JALまね 総合ポイントカード  
対象の旅行は、本ポイント付対象の商品となります。

#### 旅行条件(要約)

本旅行は次の条件に基づきます。

この旅行は(株)農協観光(旅行業務取扱業者 939号、以下「当社」といいます。)が企画・募集する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お送りする旅行条件説明書、契約書、確定書面(最終旅行日程表)及び当社旅行業務取扱業者募集型企画旅行契約の部によります。

- 旅行代金に含まれるものは次のとおりです。
  - ① 旅行日程に明示した航空・船・鉄道等利用交通機関の運賃、旅行日程に含まれる送迎(バス等の料金、旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・入場料・入場料)、宿泊の料金・税・サービス料、食事の料金・税・サービス料、
  - ② 手荷物の運賃、団体行動中の中心、添乗員付コースの添乗員の同行費用、なお、これらの諸費用はお客様の都合により一部利用されなくても原則として払戻しいたしません。
  - 旅行の申込みと契約の成立時期及び旅行代金の支払いについて  
参加申込みの際、当社所定の旅行申込書にご記入のうえ、右記の申込金をお支払い下さい。お申込金は旅行代金お支払いの期日より前日までに当社へお支払い下さい。

#### 国内旅行保険加入のおすすめ

お客様が国内旅行行程中に、急病かつ偶然な外来の事故でけがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への賠償金請求や賠償金回収が困難な場合があります。これらの移送費、また、死亡・後遺障害等を補償する国内旅行保険に、お客様自身でご加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、弊社係員にお問い合わせください。

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

**【株式会社農協観光代理業】** 観光庁長官登録旅行業第939号

**JALまね いわみ中央旅行センター**

**☎0855-22-8820**

総合旅行業務取扱管理者 申崎 秀美

鳥根県知事登録旅行業者代理業第17号

(お申し込みは上記の旅行センターへお願いします)

旅行企画・実施・お問い合わせ・お申し込みは

**NOKYO TOURIST CORPORATION**

旅行業公正取引協議会 会員

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 観光庁長官登録旅行業第939号

**Tour 株式会社農協観光**

**浜田支店 TEL 0855-22-1536**

〒697-0026 浜田市田町1674 第2オリビエビル2F 総合旅行業務取扱管理者/小菅 保樹

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引に関する責任者です。この旅行に関してご不明な点がありましたらご連絡の上上記の取扱管理者におたずね下さい。  
※お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれない特別な配慮、措置が必要となる可能性があります。詳細は別途お送りする「旅行条件説明書」の3.お申込み条件を確認の上、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきます。必ずお申し込みください。写真は全てイメージです。



## キラリ いー顔！ 地域を元気に！

平成29年7月20日、浜田市旭町都川で自宅を改装しカラオケ店を開業した花田清征さん（74歳）と栄子さん（71歳）。身近には娯楽施設がなく、地域に憩いの場所を提供したいと考え開業しました。住民からは「身近に気軽に集まれる場所ができて嬉しい」と多くの声を頂き、「元気な限り続けていき、地域をにぎやかに盛り上げたい」とご夫婦は話しておられました。



また、食事も提供をしており、JAで苗を購入し心を込めて育てた野菜を使って「地産地消」にも取り組んでいます。そして、年始には、地域の方への恩返しをする為、無料で店を開放し、地域の方に楽しんで・喜んで頂けるように取り組んでいます。

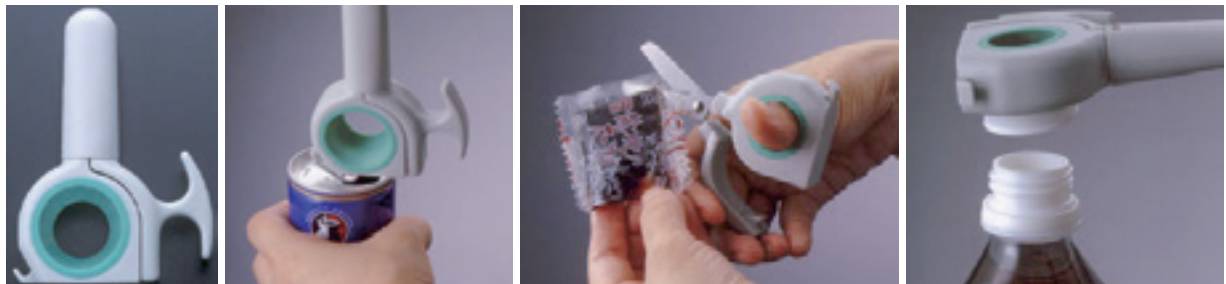
みなさん…是非、旭にきちゃんさい!!よっちゃんさい!!お待ちしております。

## 福祉センター通信

～JA福祉用具貸与からのお知らせ～

### 今回は便利グッズの1つ。スタンバイを紹介します。

テーブル、流し台、デスクなどに常時立てて置いておくことができる新しいタイプのハサミ&オープナー。収納いらずでいつでもスタンバイOK！



- 切る（紙、パッケージ、調味料袋など）。
- ペットボトル、ドリンクなどのキャップオープナー（キャップサイズ23mm～31mmを楽に開けることができます）。
- 缶飲料のプルタブ起こし（テコの原理で楽に起こします）。

JA 福祉用具でも取扱いしていますので、**詳細は福祉センター 佐藤にお問い合わせ下さい**  
☎0855-22-8918

## 年金相談会

10月23日(火) 長浜事業所  
午後3時から午後7時まで  
10月25日(木) 雲城出張所  
午後3時から午後7時まで

はじめの方や、現在受けている年金で聞いてみたい事などがありましたら、お気軽に相談できます。秘密は固く守られますので、どうぞお気軽に近くの会場にお越し下さい。





# たくさん育て、 たくさん食べよう タマネギ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

切ると出る涙の原因は硫化アリル、ビタミンB1の吸収を助けて新陳代謝を活発にし、コレステロールの代謝を活発にし、血液をサラサラにして動脈硬化や高血圧、糖尿病を予防する効果もあります。近年明らかになったところによると、野菜の中では最も細菌病、大腸菌などを寄せ付けず、安全性では極めて優れていることが裏付けされています。

タマネギは病害に強く、毎年同じ畑でも作れるので、自家菜園の作付けにとっても大変有利です。貯蔵力もあり、使い道も幅広いので、たくさん育てることをお勧めします。

家庭菜園では、通常晩秋に出回る苗を買い求めて育てる場合が多いのですが、ご承知のようにタマネギは黄、白、赤の品種があり、収穫期の違う極早生、早生、中生、晩生と特徴のある数々の品種があります。

これらを上手に育て楽しむには、自分で好みの品種を選び、種子から育てる必要があります。特に直売など販売を目的とする場合は、苗代の負担も大きくなってしまいます。

種まきの適期は、極早生8月下旬～9月上旬、早生9月上旬、中生9月中旬、晩生は9月下旬です。適期まきはとても重要なことなので、地元のJAや種苗専門店、栽培農家などに聞いて決めることが大切です。特に中晩生の品種を早くまき過ぎると、越冬するまでに大きく育ち過ぎ、寒気に感じ過ぎてとう立ちするものが多く、失敗します。

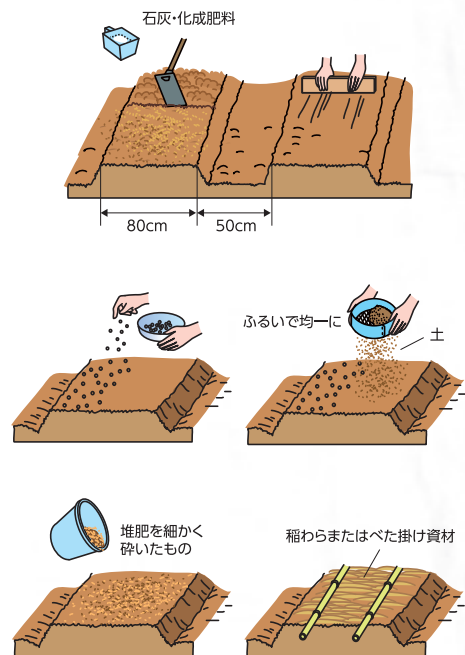
苗を上手に育てるには、苗床の前作を早めに片付け、種まきの20日以上前に完熟堆肥と石灰、化成肥料をよく耕やしておきます。トマト、ナスなどの強い根が残る野菜の跡地は避けてください。

種まき前にベッドを作り、図のように丁寧にベッドの表土をならしてから約1～2cm間隔ぐらいに均一に種をまきます。そしてふるいで2～3mmほどの厚さに、満遍なく覆土し、板切れなどで軽く表土をたたいて鎮

押し、その後ジョウロでたっぷり灌水（かんすい）します。

その上に細かく砕いた完熟堆肥をごく薄く覆い、その後苗床全面を稲わらやべた掛け資材を二重に覆い、残暑や乾燥、台風や強風の被害から守ります。

種まき後5～7日で発芽し苗が伸び始めたら、これらの被覆資材は取り除き、ジョウロでたっぷり灌水して生育を促します。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

# 農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

**国民年金 + 農業者年金**

◎保険料はいつでも変更できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、  
所得税や住民税等の節税になります。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として  
生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、  
死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者で青色申告者等  
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または  
農業者年金基金にお問い合わせください。

## 島根県立農林大学校 入学試験実施のお知らせ

### 募集人員

- ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 30名
- ②林業科 / 10名

### 試験日

学校長推薦・自己推薦 / 平成30年10月24日(水)

一般前期 / 平成30年12月5日(水)

一般後期 / 平成31年2月13日(水)

地域推薦 / 随時

※一般後期試験は実施しない場合があります。

### 試験会場

島根県立農林大学校(大田市)

### 詳しくは

農林大学校のホームページ、  
または農林大学校(☎0854-85-7012)まで。



# 島根産ものの食材レシピ 《しまねうれしぴ》

料理研究家 土井小百合

## ラタトゥイユ



夏野菜をたっぷり使った、蒸し煮です。いろいろな野菜の味が混ざり合い旨味たっぷりです。温かくても冷めてもおいしい。そのままでも十分おいしいけど、

- ・肉や魚の付け合わせ
- ・豆腐の上に乗せる
- ・バケットの上に乗せる
- ・パスタとあえてもおいしいです

### ●材料 (4人分)

トマト	2ケ	パプリカ	1/2ケ
なす	2本	にんにく	2かけ
ズッキーニ	1本	オリーブ油	大さじ2
玉ねぎ	1ケ	塩	小さじ1/2弱
ピーマン	1/2ケ	コショウ	少々

### ●作り方

- ① トマトは湯むきし、へた、種を取り乱切りにする。
- ② なす、ズッキーニを乱切りか輪切りにする。
- ③ 玉ねぎ、ピーマンを1.5cmの角切りにする。
- ④ にんにくは芽を取り軽くつぶす。
- ⑤ 鍋にオリーブ油、にんにくを入れ香りを出す。
- ⑥ 野菜を入れ、塩、コショウし、ふたをして蒸し煮にする。

## JAしまねびより 表紙絵原画展



【野々村直通先生】

開催日：平成30年10月11日[木]～10月16日[火]

開催時間：9:30～18:30 ※最終日は17:00まで

場所：ラピタ本店1階センターコート (出雲市今市町)

内容：

- JAしまねびより表紙絵展示
- ながお絵 / 1名様1枚：2,000円 (税込)

※当日の混雑状況によりお断りする場合があります。



### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙はローソク島とフェリーしらしまです。島後島の北西沖の海面上から高さ20mほど突き出したローソク島は、奇岩として人気の観光スポットです。見どころは夕景で、夕日と重なり本物の蠟燭のように見える奇跡の瞬間を求め、県内外から多くの観光客がフェリーで島を訪れます。

### 編集後記

今月の地区本部トピックスは、子ども向けの夏休みイベントや職員の夏祭り参加など、夏の話が盛りだくさんになりました。今年は猛暑でしたが、県内の各地でそんな暑さを忘れるくらいの楽しい思い出が生まれたのではないのでしょうか。



【今月の表紙の原画】  
原画の全体は次のとおりです。